

「美しい島」の桜

アメリカで桜の名所と言え、首都ワシントンD.C.のポトマック川沿い（タイダルベイソン）が有名ですが、ミシガン州にもいくつか名所があります。ただし、ミシガンは寒冷的な気候のため、日本やワシントンよりも約1か月遅れて満開を迎えるそうです。それでも今年は超暖冬だったため、例年よりも早く4月中旬に満開を迎えました。

私が、デトロイト川に浮かぶ「ベルアイル」(Belle Isle:美しい島)と呼ばれる島を訪れたのは4月23日。川の西側にはデトロイト中心街のゼネラルモーターズ本社ビルがかすみ、東側にはカナダが広がっている、そんな国境にある島です。ここは島全体が公園になっていて、夏にはピクニックや水遊びができるなど、デトロイト市民にとっての憩いの場となっています。他にも巨大な温室があったり、水族館があったり、時には島内の道路が市街地サーキットとして使われることもあります。

この島の南端に、桜の並木がありました。デトロイト市の姉妹都市である豊田市（愛知県）との提携30周年を記念し、1994年に豊田市とデトロイト日本商工会から寄贈を受け、植樹されたものだそうです。少し満開を過ぎて、花びらの間から若葉が覗いていましたが、花見には十分の華やかさでした。この日は天気も良く、あちこちから英語以上に日本語が聞こえてきました。



また、州都ランシングでも桜を見ることができました。それは、ダウンタウンにあるランシング・コミュニティ・カレッジ構内の重松記念庭園。庭園の詳細は前任の駐在員が今年の「便り」で報告していますので省略しますが、こちらは滋賀をイメージした日本庭園の中で桜を楽しめます。右の写真は4月17日のものです。お昼時間に何人かの学生さんが庭園の周りで写真を撮っていました。



更に加えれば、ミシガンはチェリーの特産地。北部のトラヴァース・シティは「世界のチェリーの都」と呼ぶ人もいて、周辺地域では丘陵に咲くたくさんのチェリー・ブlossムを見ることができるそうです。